

§ 9. あとがき

この研究部会の研究目的を考えたとき、成果をとりまとめることは、非常に難しく思えた。30余名の部会員の協力により、実橋データを基に、多角的に検討を加えてみた。この作業を進める間に多くのことを学ぶことが出来た。

平素、斜張橋に関する仕事に従事しているメンバーも、そのデータを詳細に整理していないことに気づいたのである。また、PC斜張橋に関しても、非常に多くのことを学ぶことが出来た。

研究成果は、平成6年度の土木学会全国大会での発表と、鋼技研の第9回研究発表会において報告済みである。

データの整理等、十分に注意したつもりであるが、設計書等入手不可能のものもあり不備な点多々あることと思う。

今後、賢者諸氏の御指導をいただきたく考えている。

最後に、業務多忙の処、3年間にわたり部会員を委員会に出席させて下さった法人各位に謝意を申し上げます次第である。